

令和5年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立 千鳥 小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・コロナ禍での学習で、マスクをして歌うことが必須であったが、口形を意識して発音に気を付けながら、遠くへ声を届けるイメージをもって歌うことができるようになった。
- ・感染対策をしながら、いろいろな楽器を使用し、友達と音を重ねたり、旋律を合わせたりすることで協調性が芽生え、協力して創り上げる楽しさを感じられるようになった。
- ・友達と声を重ねて歌い合わせる活動では、互いのパートの声を聴き合い、正確な音程で呼吸を合わせながら歌うことができるようになってきた。
- ・音楽の仕組みに気付いたり、扱う要素を用いて楽曲の構成を理解することができるようになってきた。

(2) 課題

- ・歌詩の内容から、作者の意図を汲み取ったり、感じたことを言葉にして表現したりすることには苦手意識をもっている。
- ・器楽楽器など新しいことへ挑戦せず、できる楽器のみで満足してしまう児童がいる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	大田区学習効果測定の教科外のためなし		
第5学年			
第6学年			

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くことに差がある。 ・曲の特徴を捉えた表現を工夫しどのように演奏するかについて思いや意図をもつことについても差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな音の響きとフレーズにつなげ方や重ね方の特徴が生み出す良さや面白さなどに気付くことができるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出す良さを感じて演奏したり、聴いたりすることに積極的に取り組む児童が増えてきた。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・音色や響きに気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏する技能の中で自分の得意不得意が分かっている。得意なことをさらに伸ばそうと 	<ul style="list-style-type: none"> ・パートのバランスを考えて演奏することの表現の工夫をしたり、みんなで音を合わせる楽しさを感じながら音楽の特徴に気付いて、表 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聴いたり、楽譜を見たりして、音楽を形づくっている要素に気付くことができるようになってきている。 ・歌詞のもつ意味を考え、表

取り組んでいる様子もあるが、不得意なことへの取り組みに消極的な様子もある。	現することの工夫をしたりすることができるようになってきた。	現の工夫をするなど意欲的に取り組んでいる。
---------------------------------------	-------------------------------	-----------------------

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> より確かな音程で歌うことができるよう、音の高さに気を付けながら歌う学習を重ね、全体で楽しく歌う活動の中で、口の形や声の届く先などを意識させ、きれいに響く歌声で正しい音程に近付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に練習している鍵盤ハーモニカにより親しみ、段階を追って課題曲を提示する。階名唱や部分奏、リズム楽器や歌との組み合わせによって、楽しみながら学習できるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもって学習に取り組み、曲や演奏の楽しさを見出し、曲全体を味わって聴けるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 正しい奏法で演奏し、音楽表現の楽しさに気付くことができるように、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに気付いて演奏できるようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 思いや意図に合った表現をするために音色や響きに気を付けて、演奏するために必要なことに気付くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が演奏する楽しみだけでなく、友達の演奏も楽しんで聴くことができるように、リレー形式で一人ずつ演奏することで友達の演奏を聴く機会をつくる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 楽器を丁寧に扱い、正しい奏法で演奏できるようにパート練習の時間を十分にとり、個別に指導する。 歌唱では明るい表情と口形を意識して歌うよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いの音を聴きながら、パートのバランスや歌詞の意味を考えて音を合わせていくにはどんな表現の工夫ができるかを話し合うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、音楽を聴いたり、楽譜を見たりして、音楽を形づくっている要素に気付く、主体的に表現の工夫を発表することができるよう取り組ませる。